

2011年5月13日

日本貨物航空株式会社

NCA ライン整備ハンガー 環境に配慮した建築物として千葉県建築文化賞を受賞

日本貨物航空株式会社(本社:千葉県成田市、社長:大槻 哲史)ライン整備ハンガー(設計・施工主:新日鉄エンジニアリング株式会社)は、環境に配慮した建築物として第17回千葉県建築文化賞を受賞致しました。

～自然エネルギー(光と風)を効果的に活用し、心地よい大規模空間を創出～

当ハンガーのコンセプトは、エコエアポート成田国際空港にふさわしいエコハンガーの実現であり、とりわけ明るさについては「国内では類を見ない明るさを実現しよう」という目標を掲げプロジェクトがスタートしました。2008年1月に着工、2009年4月に竣工した当ハンガーは、外壁材にポリカーボネイト樹脂を採用するなど、自然光を効果的に取り入れた設計によって、日中には照明なしでの作業を可能とする明るい格納庫を実現しました。



格納庫内部:間接光による均質な自然光



格納庫全景:エプロン側からの夕景

外壁材の他にも、屋根のトップライト6基には光を透過する製品(ルメウエーブ)や、風力重力によって自然換気を促すシステムの構築等、自然エネルギーを有効に活用した省エネ・低炭素型の施設となっています。

また、従業員及び協会社社員の節電努力も相まって、2年目の電力使用量は初年度に比べ一般家庭で消費する電力の約5年分(22,800kwh)の削減となり、CO2の削減にも貢献しています。今後も、弛まぬ工夫と努力により「環境にも人にも優しい航空機整備ハンガー」であり続けたいと考えております。

千葉県建築文化賞 概要

千葉県建築文化賞は、優れた建築物を表彰することにより、うるおいとやすらぎに満ちた快適な街づくりを推進することを目的に、平成6年度に創設されました。

以上